

第2回 まちづくりワークショップ 実施報告書

平成27年11月

札幌市市民まちづくり局都市計画部都市計画課

(1) 目的

○札幌市都市計画マスタープランの見直し骨子案及び札幌市立地適正化計画の考え方に対し、市民の視点から、将来の札幌にとって重要だと思う内容や不足していると思う内容などについて意見をもらい、これらを都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の素案作成に活用することを目的とする。

◆都市計画マスタープラン

:これまでの検討部会や、昨年度に実施した市民参加事業で得られた意見などを踏まえてまとめた見直しの骨子案

◆立地適正化計画

:札幌市の現況や動向、居住誘導区域・都市機能誘導区域・居住ストック活用区域についての考え方

市民からの意見

重要だと思う内容・不足していると思う内容
必要だと思う具体的な取組

札幌市都市計画マスタープラン(素案)
札幌市立地適正化計画(素案)

(2) 開催日時・会場

- 日時：平成27年8月2日（日） 10:00～12:00
- 会場：札幌市民ホール 第1・2会議室

(3) 実施方法

- 平成26年12月に開催したまちづくりワークショップの参加者28名に参加を依頼し、当日は16名が参加。前回のグループ構成を基本に、年齢・性別・居住区等の属性の偏りが少なくなるよう調整し、4グループに分けて実施。
- 札幌市より、都市計画マスタープランの見直し骨子案及び立地適正化計画の考え方について説明した上で、これらの内容に対してエリアごと(都心・拠点・市街地・住宅地・市街地の外)に、
 - ✓重要だと思う内容
 - ✓足りないと思う内容
 - ✓必要だと思う具体的な取組について意見交換し、結果を発表。



骨子案などの内容について説明



グループでの意見交換、とりまとめ



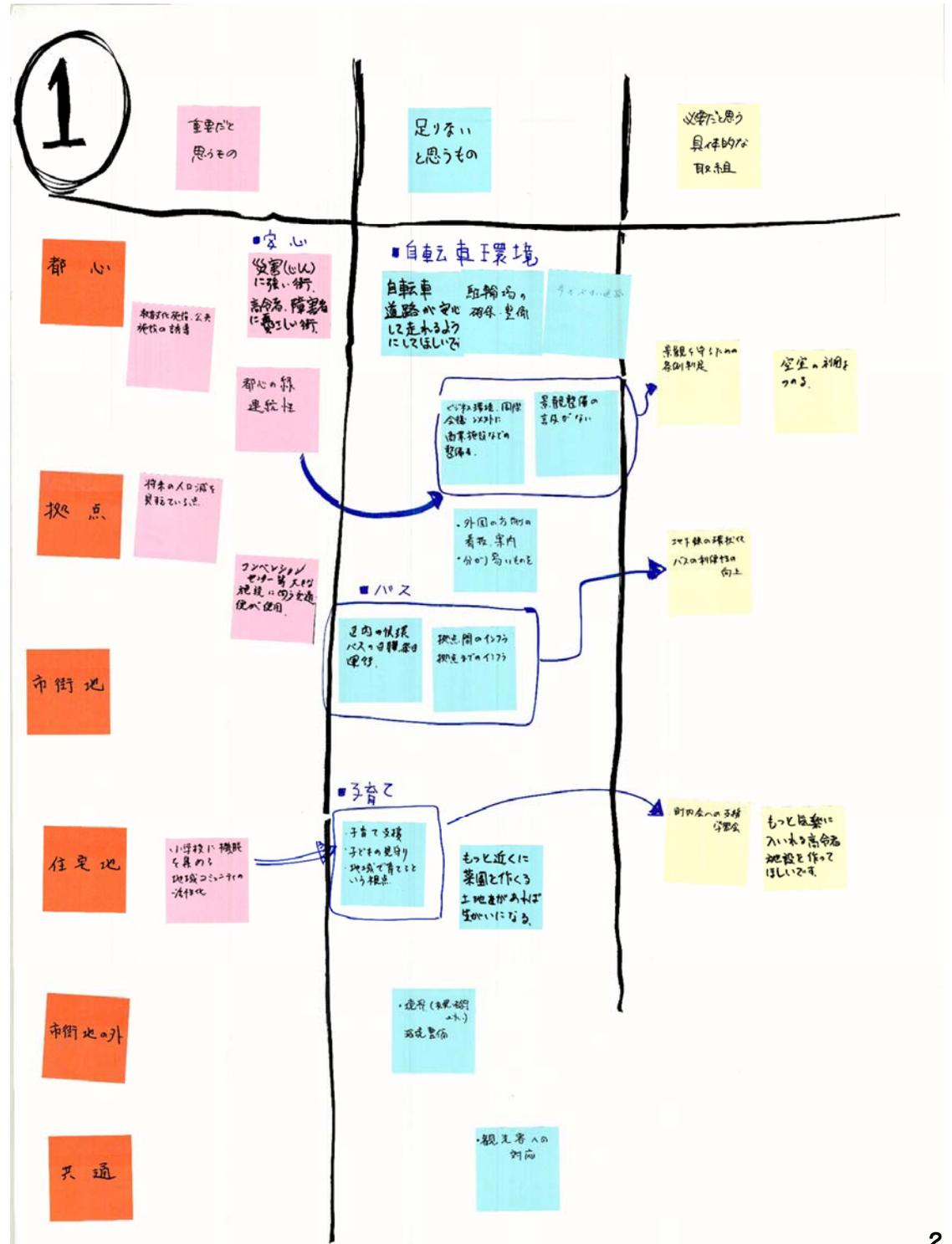
グループごとの討議結果発表



説明資料(抜粋)

2. 各テーブルの討議結果

【1班】ワークショップの様子



2. 各テーブルの討議結果

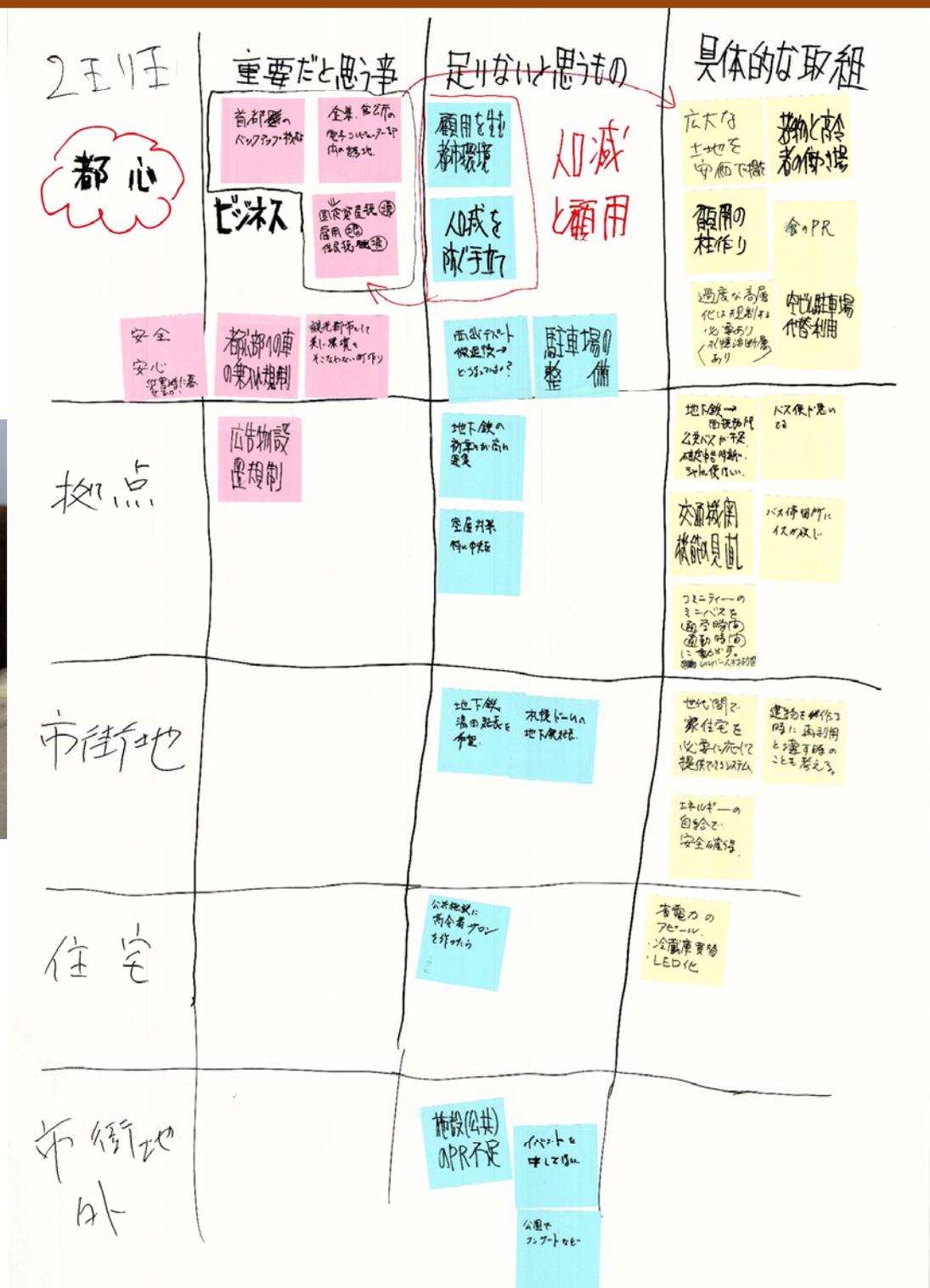
【1班】意見交換のまとめ

参加者4人：佐々木、川本、杉本、河内
札幌市：木村、テーブルマネージャー：押野

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
都心	<p>◆人が集まる施設の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育文化施設・公共施設を都心部に誘導している点 <p>◆安全・安心な都市づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害（地震）に強い街 ・ 高齢者・障がい者に優しい街 <p>◆景観・環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心の緑の連続性 <p>⇒創成川沿いの緑など評価できる点が多いが、連続性がまだ乏しい</p>	<p>◆自転車の利用環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を安心して走れるようにしてほしい ・ 駐輪場の確保・整備 <p>⇒駐輪場やたばこ・ごみ捨てに関する条例等が制定されているものの浸透していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩きやすい歩道にしてほしい <p>⇒自転車に関するマナーが乏しい。歩道を走る自転車が怖い、危ない</p> <p>◆景観・環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス環境・国際会議以外に、商業施設などでも景観や環境に配慮した整備をしてほしい ・ 景観整備についての言及がない 	<p>◆景観や環境に関するルール化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を守るための条例の制定 <p>◆空き室の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き室の利用を募る
拠点	<p>◆将来の人口減少を見据えている点</p>	<p>◆拠点間・拠点と後背地間での移動における利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点間のインフラ、拠点までのインフラが弱い <p>⇒例えば厚別～清田間の場合、直線距離は近いが、公共交通では一度中心部まで出てこなければならず遠回りになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区内の循環バスの日曜・祭日運行 <p>◆観光客等の受け入れ環境の整備／集客施設へのアクセス性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国の方向けの看板や案内が、分かり易い場所・目につきやすい場所に設置されていない ・ コンベンションセンター等大きな施設と地下鉄駅等間の交通利便性が良くない。案内が乏しい 	<p>◆拠点間での移動における利便性の向上／バス交通の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄の環状化 <p>⇒昔のような路面電車の復活など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスの利便性の向上 <p>⇒拠点単体での成熟ではなく、拠点間が接続して成熟することが必要</p>
市街地			
住宅地	<p>◆小学校を中心としたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校に機能を集める ・ 地域コミュニティの活性化 	<p>◆子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援、子どもの見守り ・ 地域で育てるという視点 <p>◆市民農園・菜園等の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと身近に菜園を作る土地があれば良い 	<p>◆子育てに対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への支援や学習会などの開催 <p>⇒昔ながらの地域全体での子育て</p> <p>◆高齢者向けの施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと気軽に入れる高齢者施設を作してほしい（シェアハウスなど）
市街地の外		<p>◆隣接する自治体との連携による環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各市の境界部分（札幌と石狩・小樽等）の環境整備が必要 	
共通		<p>◆観光客への市民対応の向上</p> <p>⇒海外では観光客に対してとても親切</p>	

2. 各テーブルの討議結果

【2班】ワークショップの様子



2. 各テーブルの討議結果

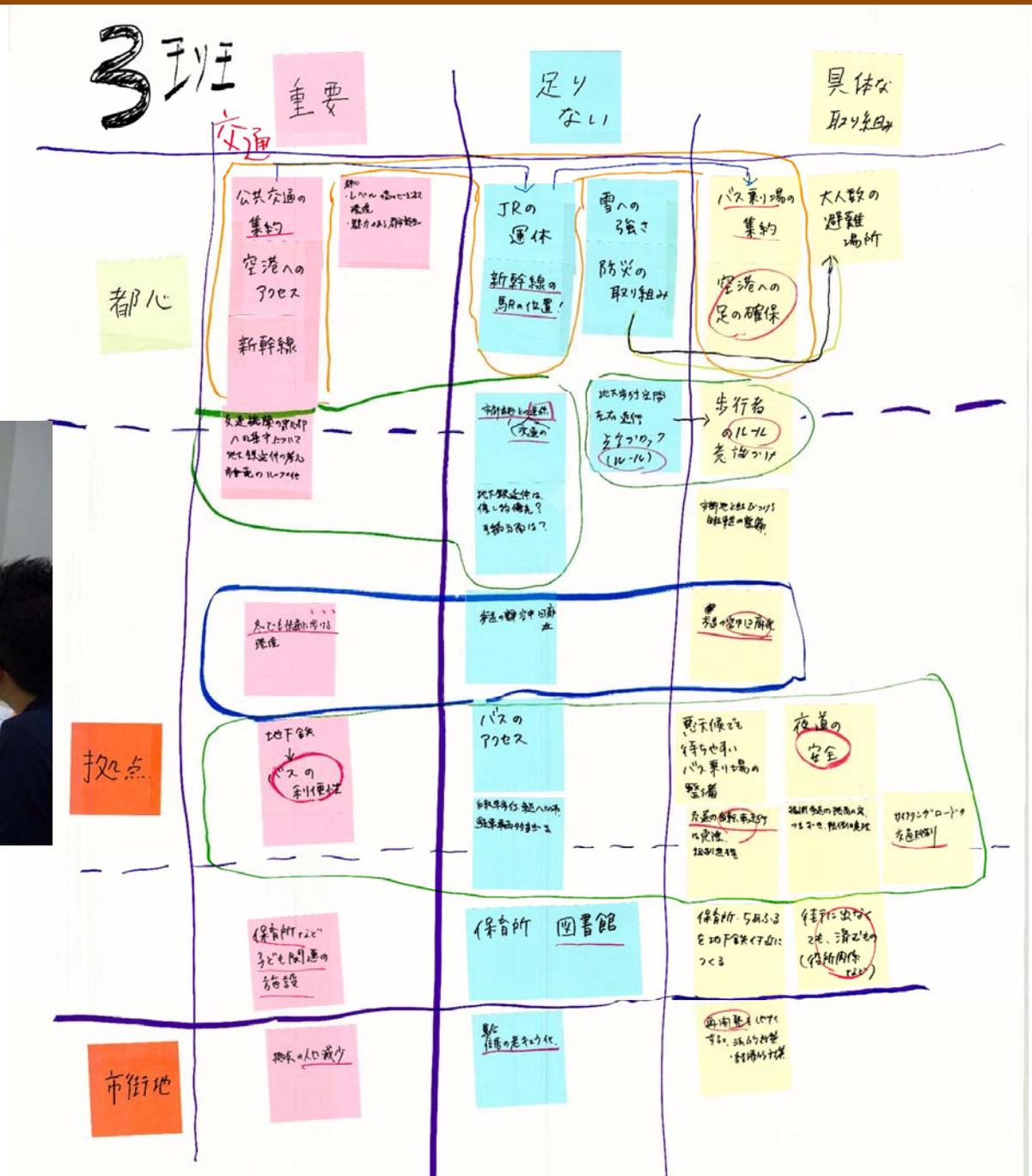
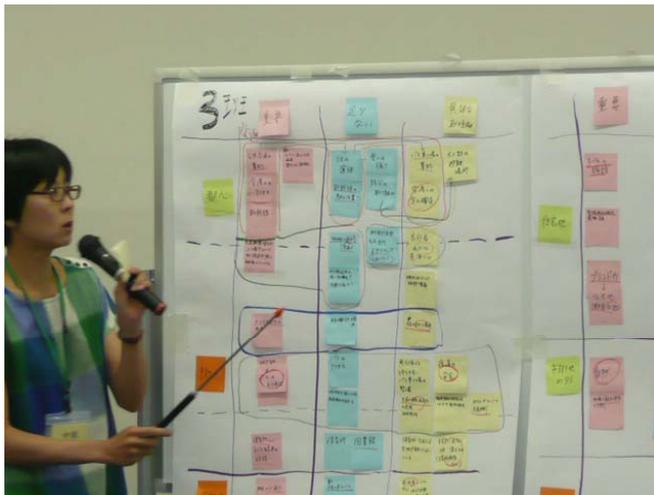
【2班】意見交換のまとめ

参加者4人：藤川、小松、斉藤、松田
札幌市：小野、テーブルマネージャー：斉藤

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
都心	<ul style="list-style-type: none"> ◆首都圏のバックアップ機能の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業、官公庁の電子部門の誘致 ⇒これらにより、固定資産税・住民税・雇用等の増加が期待できる ◆安全・安心な都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時にも対応した安心・安全な暮らしづくりをしてほしい ◆快適な歩行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部への車の乗り入れ規制などを行い、歩行者に優しい都心づくりをしてほしい ◆景観・環境への配慮／魅力ある都市観光 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に誇る観光都市として、美しい環境を損なわないまちづくりをしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人口減少社会への歯止めを意識した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少を防ぐ手立てが必要 ・ 新たな雇用を生む都市づくり、若者が働きやすい環境づくりが重要 ◆都心の駐車場整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒駐車場が不足している ◆都心の空き地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手デパートの跡地など、空き地の有効活用が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ◆雇用促進に向けた規制緩和等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規事業に対し、広大な空き地を安価で提供 ・ 若者や高齢者が働く場の創出 ◆防災性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ ビルの過度な高層化の規制 ◆空きビル・空き室等の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き地を活用して不足している駐車場を整備 ◆情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌特有の食をPR
拠点		<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄の初乗り運賃を安くしてほしい ◆空き家対策の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家が目立っており、対策が必要（特に中央区） ◆景観・環境への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告物の設置に対する規制 	<ul style="list-style-type: none"> ◆バス交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ バス交通による移動が不便。期間限定で各施設へバスでアクセスできるようにするなど、利便性向上に努めることが重要 ⇒確定申告時期のシャトルバスの運行 ⇒通勤・通学時間におけるコミュニティバスの運行（シルバー人材の活用） ⇒バス停留所における待合所（椅子等）の設置
市街地		<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌ドーム・清田方面への地下鉄延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ◆エネルギー施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギーを自給自足できるシステムの検討
住宅地		<ul style="list-style-type: none"> ◆交流空間の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設に高齢者サロンをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住宅の住み替えシステムの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅等を簡単に建て替えるのではなく、必要に応じて世代間で住宅を提供できるシステムの検討 ◆エネルギー施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家電買換えやLED化による省電力のアピール
市街地の外		<ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園でコンサートなどのイベントを開催してはどうか ・ イベント等のPRや、機会そのものが不足している 	
共通			

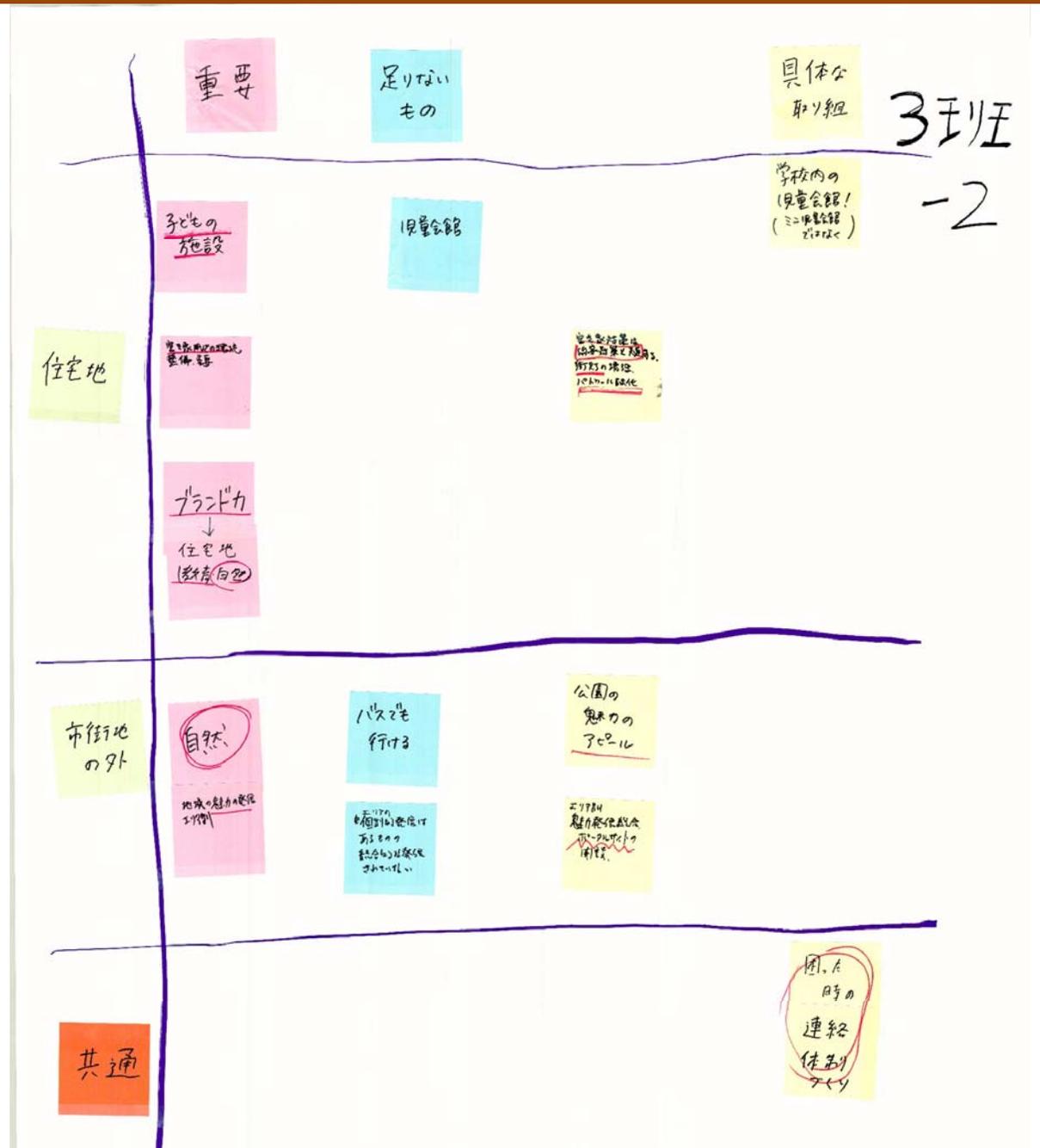
2. 各テーブルの討議結果

【3班】ワークショップの様子（その1）



2. 各テーブルの討議結果

【3班】ワークショップの様子（その2）



2. 各テーブルの討議結果

【3班】意見交換のまとめ

参加者3人：中根、坪坂、長嶺
札幌市：酒井、テーブルマネージャー：大島

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
都心	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の集約化 ・JRだけではなく空港へのアクセスの確保 ・新幹線への期待 ・市電のループ化 ◆レベルの高いビジネス環境 ◆魅力ある都市観光 	<ul style="list-style-type: none"> ◆JRの利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・JRの運休への対応 ・新幹線駅の位置 ◆安全・安心な都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・雪への強さ ・防災の取組 ◆地下歩行空間のルールづくり <ul style="list-style-type: none"> ・歩行位置や点字ブロックへの配慮など 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・札幌駅や大通に点在しているターミナル機能の集約化 ・バス乗り場の集約化（バスターミナル、中央バスセンター等） ・JRだけではなく空港へのアクセスの確保 ◆防災性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・大人数の避難場所の確保 ◆歩行者への通行ルールの意識づけ
拠点	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども関連施設の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所など ◆冬でも快適に移動できる環境づくり／快適な歩行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・冬でも快適に歩ける環境は重要 ◆拠点と後背地間での移動における利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄からバスの乗り継ぎ利便性 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不足している施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、図書館 ◆冬でも快適に移動できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の空中回廊化 ◆拠点と後背地間での移動における利便性の向上／バス交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・市街地との交通の連携 ⇒バスのアクセス性 ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・手稲方面への地下鉄延伸 ◆自転車の利用環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・走行レーンに駐車している車両が多く、啓発が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅周辺への利便施設の集積 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、ちあふるを地下鉄駅付近につくる ・都心に出なくても済むような機能を整備（まちセンの拡充、役所関係など） ◆バス交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・悪天候でも待ちやすいバス乗り場の整備 ◆自転車ネットワークや利用ルールの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市街地と結びつける自転車道の整備 ・冬道の自転車利用は危険 ・サイクリングロードの交通規制 ◆防犯性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・夜道の安全性確保 ◆バリアフリーの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道のバリアフリー化
市街地	<ul style="list-style-type: none"> ◆人口減少への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆集合住宅の老朽化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒建物の老朽化により住環境が悪化し、利便性が高い場所でも若い人が住まない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆再開発がしやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・法的対策 ・経済的対策
住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校を中心としたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設の充実 ◆空き家対策の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家周辺の環境整備が重要 ◆地域の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・教育や自然の環境をPRし、ブランド力を生かした住環境の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不足している施設の整備／子育て環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童会館 ⇒ミニ児童会館では体育館がないなどスペースが狭いため、児童会館の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き家対策／防犯性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策は治安対策と共通する ・街灯の増設やパトロールの強化など
市街地の外	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境の保全 ◆地域の魅力を発信する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒エリアによって異なる地域の魅力を、多様な媒体を活用して発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆拠点と後背地間での移動における利便性の向上／バス交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒魅力ある拠点にバスでも行けるようにネットワークを整備 ◆地域の魅力を発信する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒エリアでの個別の情報発信はあるが、総合的に発信されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・公園の魅力をPR ・魅力発信の総合的なポータルサイトを開設
共通			◆困った時（急病・災害時等）の連絡体制づくり

2. 各テーブルの討議結果

【4班】意見交換のまとめ

参加者5人：堀、今野、村岸、牧野、元茂
札幌市：岩永、テーブルマネージャー：永井

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
都心	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境配慮やエネルギーの観点 ◆都心の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の都心は魅力がないと感じる ◆都心のアクセシビリティの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄の専用席設置は良い ・地下歩行空間は夏でも冬でも利用できて良い ・エスカレーターを増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・JRの乗換え場所が増えたら良い ・循環バス（札幌～大通・すすきの）が増えたら良い ◆安全・安心な都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・公園や緑を増やす際に、見晴らしや街灯など、防犯上の安全性に配慮が必要 ・観光客など、非日常の中での災害時の対応（避難場所等）がわからない ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどの混雑に対応できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅周辺への利便施設の集積 <ul style="list-style-type: none"> ・駅から歩いて数分で利用できる施設（病院等）がもっとあると良い ◆バリアフリーの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な一部の人が楽しめる事しかできない（交通、移動環境など） ◆休憩スペースの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・こまめに休憩スペース（椅子）を設置する ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・駅の東西南北に、出張者・観光旅行者向けの手荷物を預けられる所が必要 （荷物が多く、コインロッカーなどでは対応が難しい。京都にはそのような窓口がある） ・安価な宿泊場所が必要
拠点	<ul style="list-style-type: none"> ◆冬でも快適に移動できる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄があることにより、季節に関係なく移動できるので安心できる ◆各拠点間・拠点と後背地間での移動における利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄駅などのアクセス拠点と後背地との移動しやすさを確保することは重要 	<ul style="list-style-type: none"> ◆暮らしやすい住環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車やゴミが散乱し、雑然としている ・駅直結型の住宅があると大変良い ・低廉な家賃の共同住宅があると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自転車の利用ルールの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の使用ルールが必要 ⇒放置自転車対策なども含む ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄周辺にも安価な宿があると良い ⇒空き家を活用したゲストハウスなど ◆真駒内地区の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄駅から無料バスでアクセスできる空き家などを活用し、子どもの遊び場を作る
市街地		<ul style="list-style-type: none"> ◆交流空間の創出／空き室・空き家の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場所がない。あっても足りない ⇒空き家等の既存建物を活用すべきだが、市街地にはあまり空き家がないのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き地の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・市街地にも、空き地の活用などにより駐輪場をこまめに確保してはどうか
住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き家対策の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増加するなか、安価で住宅を取得できる所のPRや、空き家を活用した交流空間づくりなどが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・通勤等の利便性を高めるため、始発・終発を増やせたら良い ◆交流空間の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が交流できるサロンのような場所がほしい ・高齢者が気軽に集まれる場所がほしい ⇒ボランティアなど、元気な高齢者の地域での活動が活発化するのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業体験等の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・環境を活かし、農業体験などの教育を充実させるべき（大人も含め親子で体験できる場所、小中学校の生徒が利用できる場所） ⇒住宅地の中で、個人で畑をつくっている高齢者なども多く、より身近な環境を活用すべき
市街地の外			
共通		<ul style="list-style-type: none"> ◆安全・安心な都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所を増やすべき ◆子育て環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが思いきり遊べる公園が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆まちの美化対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨ての防止。ゴミを捨てるとポイントが入るダストボックスなど、ゴミの回収を市民が積極的に進められる仕組みづくりが必要

3. 意見のまとめ

【都心、拠点】

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
都心	<ul style="list-style-type: none"> ◆首都圏のバックアップ機能の誘致 ◆レベルの高いビジネス環境 ◆都心の魅力向上／魅力ある都市観光 ◆安全・安心な都心づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時にも対応した都市づくり ◆人が集まる施設の誘導 ◆快適な歩行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部への車の乗り入れ規制 ・ 歩行者に優しい都市づくり ◆都心のアクセシビリティの向上 ◆環境配慮やエネルギーの観点 ◆景観・環境への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心の緑の連続性 	<ul style="list-style-type: none"> ◆人口減少社会への歯止めを意識した都心づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな雇用を生む都市づくり ・ 若者が働きやすい環境づくり ◆安全・安心な都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 雪への対応／防災の取組／街灯の設置や見晴らし ◆都心の空き地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手デパートの跡地など ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ JRの利便性 ◆都心の駐車場整備 ◆自転車の利用環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を安心して走れる環境づくり ・ 都心における駐輪場の整備 ・ 自転車利用に関するマナーの向上 ◆地下歩行空間のルールづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行位置や点字ブロックへの配慮など ◆景観・環境への配慮 ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客時の混雑に対応できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ◆雇用促進に向けた規制緩和等の検討 ◆防災性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人数の避難場所の確保 ◆駅周辺への利便施設の集積 ◆空きビル・空き地・空き室の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の充実等 ◆バリアフリーの推進 ◆休憩スペースの創出 ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ バス乗り場などターミナル機能の集約化 ・ 空港へのアクセスの確保 ◆歩行者への通行ルールの意識づけ ◆景観や環境に関するルール化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例制定 ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手荷物預かり所の整備 ・ 安価な宿泊場所の整備 ◆情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌特有の食をPR
拠点	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども関連施設の誘導 ◆冬でも快適に移動できる環境づくり／快適な歩行空間の整備 ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点間の移動 ・ 拠点と後背地間での移動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆集客施設へのアクセシビリティの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設と地下鉄駅等間の交通利便性が悪い ・ 案内看板等の整備 ◆不足している施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、図書館 ◆空き家対策の必要性 ◆暮らしやすい住環境整備 ◆冬でも快適に移動できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の空中歩廊化 ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点間の移動／拠点と後背地間での移動 ・ バス交通の利便性 ・ 手稲方向／札幌ドーム・清田方向への地下鉄延伸 ・ 地下鉄の初乗り運賃を安く ◆自転車の利用環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を安心して走れる環境づくり ◆景観・環境への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告物の設置に対する規制 ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人向けの案内が判りづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅周辺への利便施設の集積 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、ちあふる ・ 役所関係やまちセンの拡充 ◆防犯性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜道の安全性確保 ◆バリアフリーの推進 ◆公共交通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄の環状化 ・ コミュニティバス等の運用 ・ バスの待合空間の整備 ◆自転車ネットワークや利用ルールの整備 ◆観光客等の受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄駅周辺にも宿泊場所を整備 ◆真駒内地区の活性化

3. 意見のまとめ

【市街地、住宅地、市街地の外】

	骨子の内容について重要な点	骨子の内容について不足している点	具体的な取り組み提案
市街地	◆人口減少への対応	◆交流空間の創出 ◆空き地・空き家の活用 ◆集合住宅の老朽化への対応	◆再開発がしやすい環境の整備 ◆空き地の有効活用 ◆エネルギー施策の推進 ・ エネルギーを自給自足できるシステムの検討
住宅地	◆地域の魅力向上 ◆小学校を中心としたまちづくり ◆空き家対策の必要性	◆不足している施設の整備 ・ 児童会館 ◆子育て環境の充実 ◆交流空間の創出 ◆空き室・空き家の活用 ◆市民農園・菜園等の整備促進	◆子育てに対する支援 ◆住宅の住み替えシステムの検討 ◆空き家対策 ◆防犯性の向上 ・ 街灯の増設やパトロールの強化 ◆高齢者向けの施設の充実 ◆農業体験等の教育の充実 ◆エネルギー施策の推進 ・ 家電買換えやLED化による省電力のアピール
市街地の外	◆自然環境の保全 ◆地域の魅力を発信する仕組みづくり	◆公共施設の活用促進 ◆公共交通の利便性向上 ・ 拠点と後背地間での移動 ◆隣接する自治体との連携による環境整備 ・ 市の境界部分の整備 ◆地域の魅力を発信する仕組みづくり	◆情報の発信
共通		◆安全・安心な都市づくり ・ 避難場所を増やすべき ◆子育て環境の充実 ・ 子どもが思い切り遊べる場所の確保 ◆観光客への市民対応の向上	◆困った時（急病・災害時等）の連絡体制づくり ◆まちの美化

3. 意見のまとめ

(1) 骨子等において重要だと思う点

都心	: 骨子等で示されている内容は全て重要
拠点	: 施設の誘導や移動しやすい環境づくり
市街地	: 人口減少に対応した市街地形成
住宅地	: 小学校を中心としたまちづくり
市街地の外	: 自然環境の保全と魅力づくり

(2) 骨子等において不足していると思う点

都心	: 人口減少社会への歯止めを意識した都心づくり、観光客等の受け入れ環境の整備、安全・安心な都市づくり、公共交通の利便性向上、都心の駐車場整備、自転車の利用環境の改善、景観・環境への配慮
拠点	: 観光客等の受け入れ環境の整備、集客施設へのアクセス性の向上、不足している施設の整備、冬でも快適に移動できる環境づくり、公共交通の利便性向上
市街地	: 交流空間の創出、空き地・空き家の活用、集合住宅の老朽化への対応
住宅地	: 不足している施設の整備、子育て環境の充実、交流空間の創出、空き室・空き家の活用、市民農園・菜園等の整備促進
市街地の外	: 公共交通の利便性向上、隣接する自治体との連携による環境整備
共通	: 安全・安心な都市づくり、子育て環境の充実、観光客への市民対応の向上

(3) 必要だと思う具体的な取組

都心	<ul style="list-style-type: none">◆雇用促進に向けた規制緩和等の検討◆防災性の向上（大規模な避難場所の確保）◆駅周辺への利便施設の集積◆空きビル・空き地・空き室の有効活用（駐車場の充実など）◆バリアフリーの推進◆休憩スペースの創出◆公共交通の利便性向上（バス乗り場などターミナル機能の集約化、空港へのアクセスの確保）◆景観や環境に関するルール化の推進（条例制定）◆観光客等の受け入れ環境の整備（手荷物預かり所の整備、安価な宿泊場所の整備）
拠点	<ul style="list-style-type: none">◆駅周辺への利便施設の集積（保育所、ちあふる、役所関係やまちセンの拡充）◆防犯性の向上（夜道の安全性確保）◆バリアフリーの推進◆公共交通の利便性向上（コミュニティバス等の運用、バスの待合空間の整備）◆自転車ネットワークや利用ルールの整備◆観光客等の受け入れ環境の整備（地下鉄駅周辺の宿泊場所の整備）
市街地	<ul style="list-style-type: none">◆再開発がしやすい環境の整備◆空き地の有効活用◆エネルギー施策の推進（エネルギーを自給自足できるシステムの検討）
住宅地	<ul style="list-style-type: none">◆子育てに対する支援◆住宅の住み替えシステムの検討◆空き家対策◆防犯性の向上（街灯の増設やパトロールの強化）◆高齢者向けの施設の充実◆農業体験等の教育の充実◆エネルギー施策の推進（家電買換えやLED化による省電力のアピール）
共通	<ul style="list-style-type: none">◆困った時（急病、災害時等）の連絡体制づくり